

ふじさわししょうにまんせいしっかんじ いりょうてき け あ じ とう 藤沢市小児慢性疾患児・医療的ケア児 等

さいがい じ じょうほう 災害時情報ノート



1 「災害時情報ノート」のつかいかた

大きな災害時に、お子さんの医療やいつもの生活のようすを正しく伝えることやケアを続けることは、かんたんなことではありません。ふだんから必要な情報をまとめておき、“災害時の協力者”(医療処置をする医師・看護師、ヘルパーさん等)が、もしもの時に このノートを見て、お子さんに必要な治療や毎日のケアを確認し、安全に生活するためのケアを続けていただくために、このノートは作られています。いつもの生活のようすをくわしく記入して、お子さんのベッドの近くやお部屋の目につくところに置きましょう。

2 ノートに書くこと

ノートのサイズは、A4版です。18 ページまでは、お子さんが使っている薬やふだんのすごし方(ケア・スケジュール)、もしもの時の協力者の連絡先、ケアや治療に関する情報などを書きこめるようになっています。

19 ページから後ろは、お子さんに必要なページをえらんでつけてください。ケアや治療のくわしい内容(人工呼吸器、酸素療法、吸入・吸引・気管切開、経鼻栄養・胃ろう、中心静脈栄養、血糖値チェック・インスリン注射、人工肛門、導尿・膀胱留置カテーテル)は、別になっています。

食事の時のからだの向きや座り方、非常用電源のつなぎ方など、写真で見たほうが分かりやすいものは、写真やメモをつけられるようにしています。

からだの大きさや薬の種類や量、ケアの内容、福祉サービスなどが変わったときには、ノートのページを差し替える、メモを付けるなど、アレンジしてつけてください。必要な情報をこのノートにたくさん入れてください。



3 ノートをつくる、つかう

ご自宅に訪問している市の保健師・助産師等がノートのつかい方を説明し、家族の方といっしょに必要なところを記入します。できあがったものは、家族の方がもっててください。

「災害時の協力者」に、このノートのコピーをわたすときは、家族の方から、“大切な情報なので取扱いには気を付けてください”と、おはなしてください。

また、このノートは、医師、看護師、福祉サービスの事業所の方など、小児慢性疾患児・医療的ケア児等の支援に関わっている方にもつかっていただきたいと思います。そのときには、市のホームページからダウンロードできます。ノートの使用方法、注意事項を確認してください。わからないことは、担当課まで連絡してください。

子ども用に作っていますが、大人の方にもつかっていただける内容だと思います。

市のホームページから各項目・ページごとにダウンロードできますので、いつでも、成長や状況の変化に合わせてつかってください。（藤沢市以外にお住まいの方は、サービスや制度が市によって違う場合があります。それぞれの自治体にご確認ください。）

4 つかってみた感想^{かんそう}

地震や風水害などの自然災害は日本各地でおこっています。避難所へ逃げるのがむずかしい医療的ケア児等と家族の方の多くは、自宅にとどまるしかありません。電気や水道が止まってしまったとき、いつもの訪問看護師さんが来られないとき、ご家族の方の帰りが遅くなったときでも、いつものケアに近く、安全にすごせるように、市では、ご家族の方や支援者の意見を取り入れて、今回は、自宅にとどまるときにつかえる情報ノートを作りました。これをさらにつかいやすいものにしていきたいと思います。ノートをつかってみた感想は、下のメールアドレスまでおねがいします。

藤沢市 子ども青少年部 ^{おやこ}親子すこやか課 ^か母子保健担当 ^{ぼ し ほけんたんとう}

メールアドレス：fj-oyako@city.fujisawa.lg.jp

※ 2025 年 4 月から、課名が健康づくり課から「親子すこやか課」になりました。